

田尻だより

平成 19 年
7 月 号
Vol. 52

次回の田尻便りは
8 月発行予定!

暑いですね。あまり

梅雨らしい雨が降らな
いまま、もう7月を迎
えてしまいました。

空梅雨によつて、西
日本はすでに渇水傾向
にある模様。今後も天
気の変化を注目深く見
守る必要があります。

農作物への影響が懸
念されるような天候が、
ここ数年続いています。

生き物たちが活発に
活動する季節になりました。
子供たちも外で元気に
遊んでいます。



↑おしゃべりが上手になり、
何でも教えてくれます。

「生き物調査ブーム？」

今年の6月から、日
本各地で生き物調査が
流行しています。特に
水田を中心とする農地
や水路では、地域住民
参加型の生き物調査や
水路清掃が一斉に行わ
れるようになりました。

こうした背景には、
農業に関する政策の大
きな変化があります。
一定の要件を満たせば、
生き物調査や水路清掃
が環境に資する活動と
して評価され、国や県

から補助金が出るよう
になったからです（一
部の自治体を除く）。

そのため、以前から
生き物調査を行ってき
た雁音農産には、講師
の依頼が入ってくるよ

うになりました。田尻
には生物調査に長けた
方々がたくさんいらつ

しゃいますが、講師不
足の感は否めません。

そんな訳で、生き物
先生なんて呼ばれつつ、

私は今日も網を持って
田んぼへ出かけます。

田んぼへ出かけます。

田舎で育つたからと言って
生き物好きに育つ訳では
ないらしく、



子供の個性がそれぞれ
感じられるこの頃です。

未 暦 ~こめごよみ~

- 6月4日~ あぜの草刈が始まりました。
- 17日~ 各地区で田んぼと生き物の勉強会を行っています。
- 24日~ 各地区で生き物調査を行っています。

生き物勉強会に生き物調査と、多忙な毎日が続いています。私達はただ調査をするのではなく、必ず勉強会を行ってから、調査にとりかかります。

嫁日記

6月30日・7月1日と、長野県に行ってきました。私の敬愛する作家、C.W.ニコル氏の持つアフアの森で水生生物調査があり、そのお手伝いに行ったのです。

ニコル氏は英国出身の方ですが、日本の森を豊かな森に戻したいという思いから、

荒廃した里山を少しずつ買い、再生活動を行っておられます。野生生物の棲める豊かな森になっているかを推し量る為、アフアの森では生物調査が行われます。

同じ水生生物でも、田んぼと森では違います。私も日本の田んぼをこんな風に再生したいなあと思つた、充実した2日間でした。